

専門教育科目

講義科目

基本/OCR

応用/記述

SC

授業科目名	産業カウンセリング概論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	高桑 将太	EB37	3・4	4

科目の概要

産業界において、働く現場の変化や雇用の流動化など、その悩みは多岐にわたり、従来のような集团的で画一的な管理・対応では対処することが難しい。個別の職場に対応できる「産業カウンセリング」に関する幅広い知識、スキルを持った人材の育成が急務である。

本科目では、「産業カウンセリング」について、その役割と必要性について学習し、今後の課題や展望までを考えながら、産業界で働く人たちのためのカウンセリングのあり方について概論的な学習を行う。

科目の到達目標

- ①産業カウンセリングの歩みと現状の考察を通じてその意義を説明でき、カウンセラーとしてできる援助などの方法について理解できる。
- ②企業内で起こる問題や課題を捉え、働く人の抱える問題点について産業カウンセラーとしてどう対応するのかを述べるができる。

テキスト	『社会人のための産業カウンセリング入門』今村 幸太郎 他, 産業能率大学出版部, 2014年
------	--

テキストの読み方

- ①テキストは、産業カウンセリングの歩みと現状や産業カウンセリングに必要な基本的な理論が詳細に述べられている。
- ②内容については、読み込んでいくと、職場でのカウンセリングの必要性や、どういう援助をしていけるのか具体的に考えることができる。
- ③現在の日本社会が求めている“産業カウンセリングへの期待”にどう応えたらよいのか、自分なりの考えをまとめながら読むことが求められる。

単位修得の方法

- ①レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、
- ②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要。